

SNSでの誹謗中傷を減らすには～with開示請求～

班番号 15班 氏名 森田 西田 椎 小川 山崎 (普通科)

研究概要

誹謗中傷を少しでも減らすために、個人情報保護を目的で、開示請求を行い、悪意のある書き込みを行った人は罰せられることがある制度を調べ、誹謗中傷についてのみんなの意識や開示請求についてアンケートを取った。

目的 (研究動機)

SNSで誹謗中傷を見ることがあり、誹謗中傷はされた人も見かけた人も嫌な気持ちになることが多い。私たちの探究活動で少しでも誹謗中傷を減らし、誹謗中傷で傷ついてしまう人を一人でも多く減らしたいと思ったから。

テーマ設定の経緯

誹謗中傷についてアドバイザーと話す中で「**開示請求**」という制度をアドバイザーから提供していただいた際、私達自身もどのような制度かはっきりは理解できていなかったため開示請求について調べた。その調べていく過程で開示請求が誹謗中傷を減らすことに有効なのではないかと考えこのテーマを設定した。

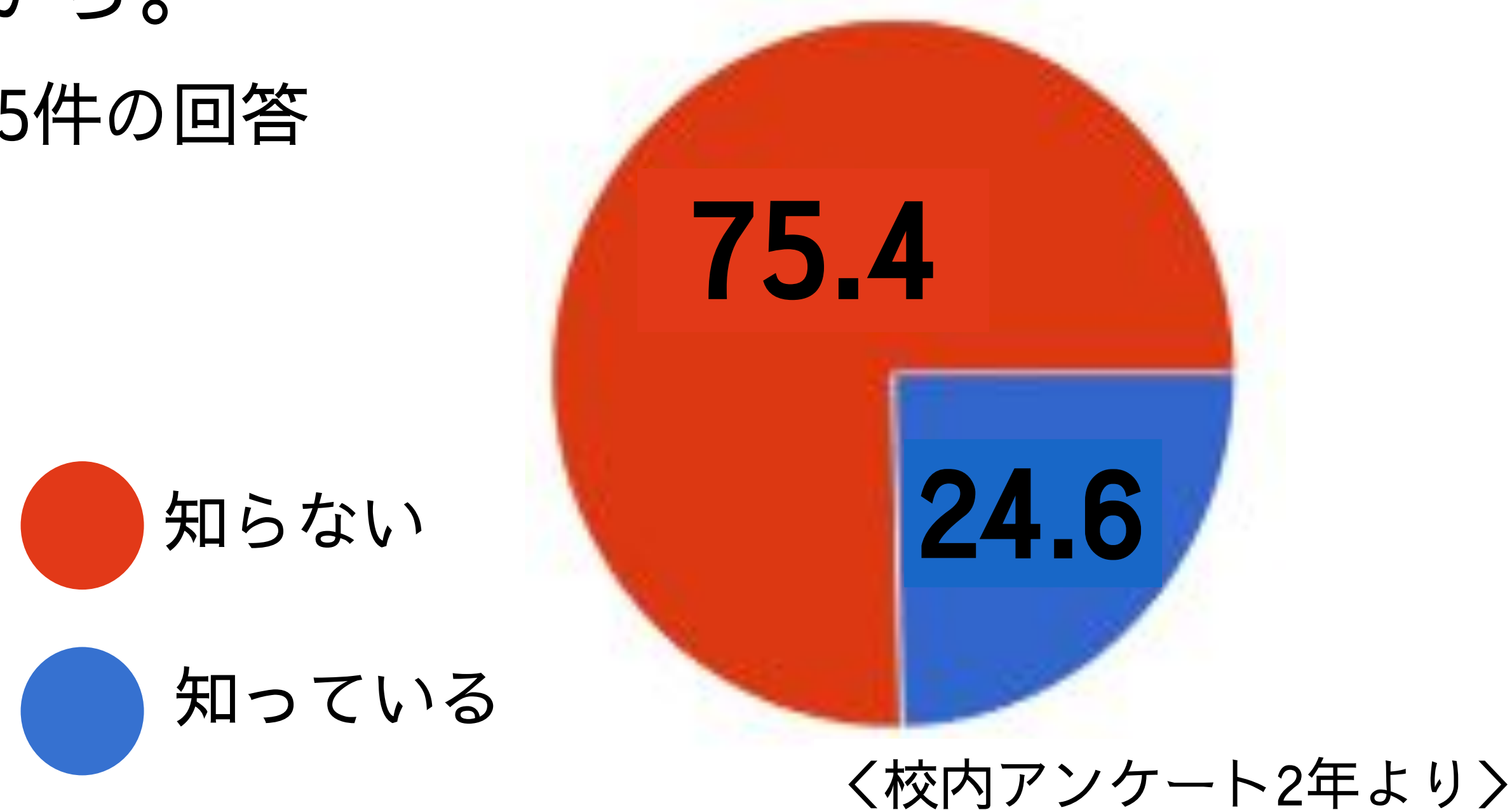
仮説

開示請求という制度があることが若者の中で広まることで、誹謗中傷を減らせるのではないかと。

仮説の根拠

誹謗中傷を受けたあとの被害者側の対処方法として「開示請求」という制度があるが、本校の2年生を対象にアンケートを取ったところ、知らないと答えた人が約8割だったから。

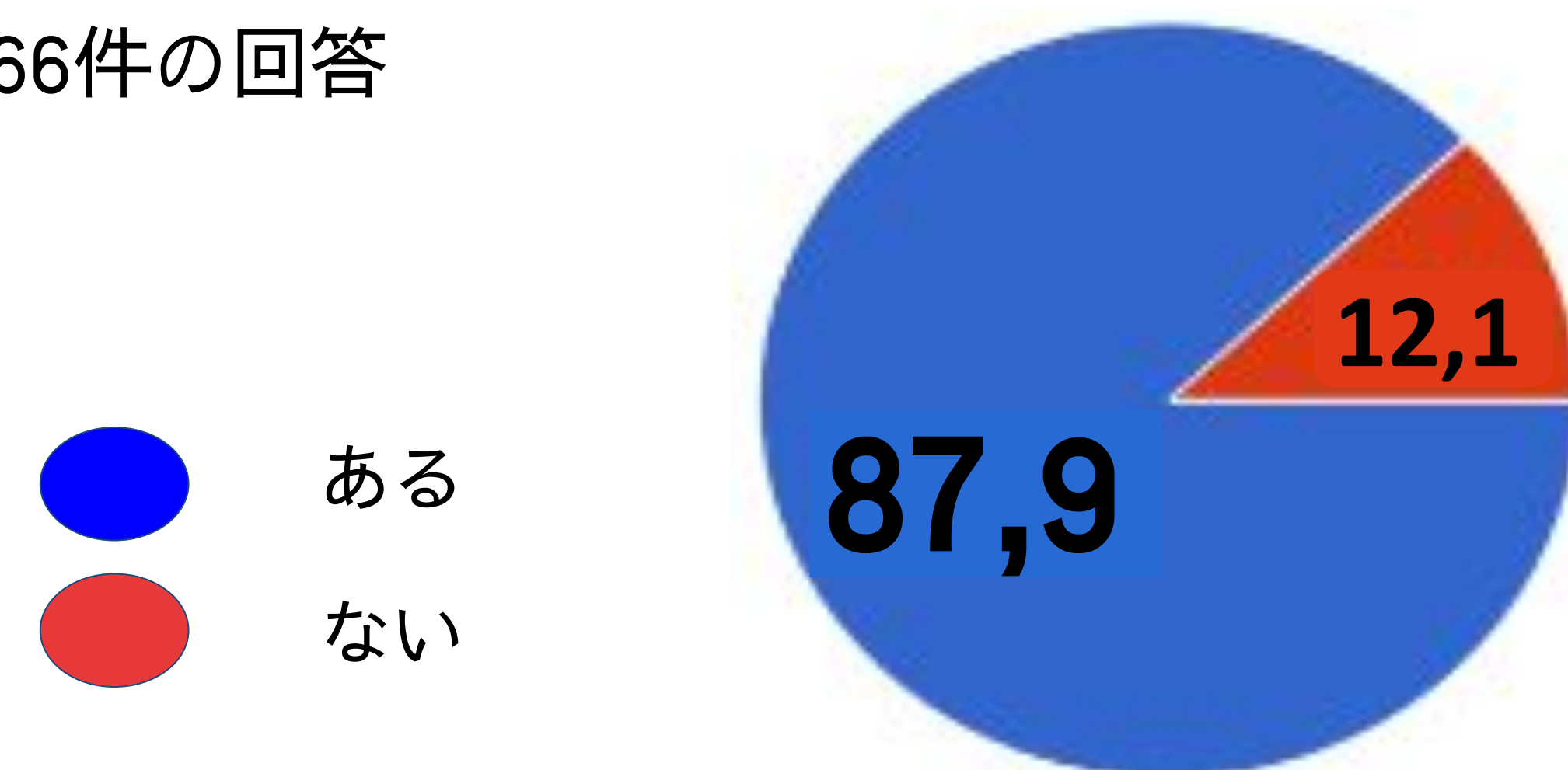
65件の回答



検証方法1 (アンケート)

若者が誹謗中傷を実際に見たことがあるかを調べるため、ネット上で誹謗中傷を見たことがあるかを本校の2年生にアンケートを取った。

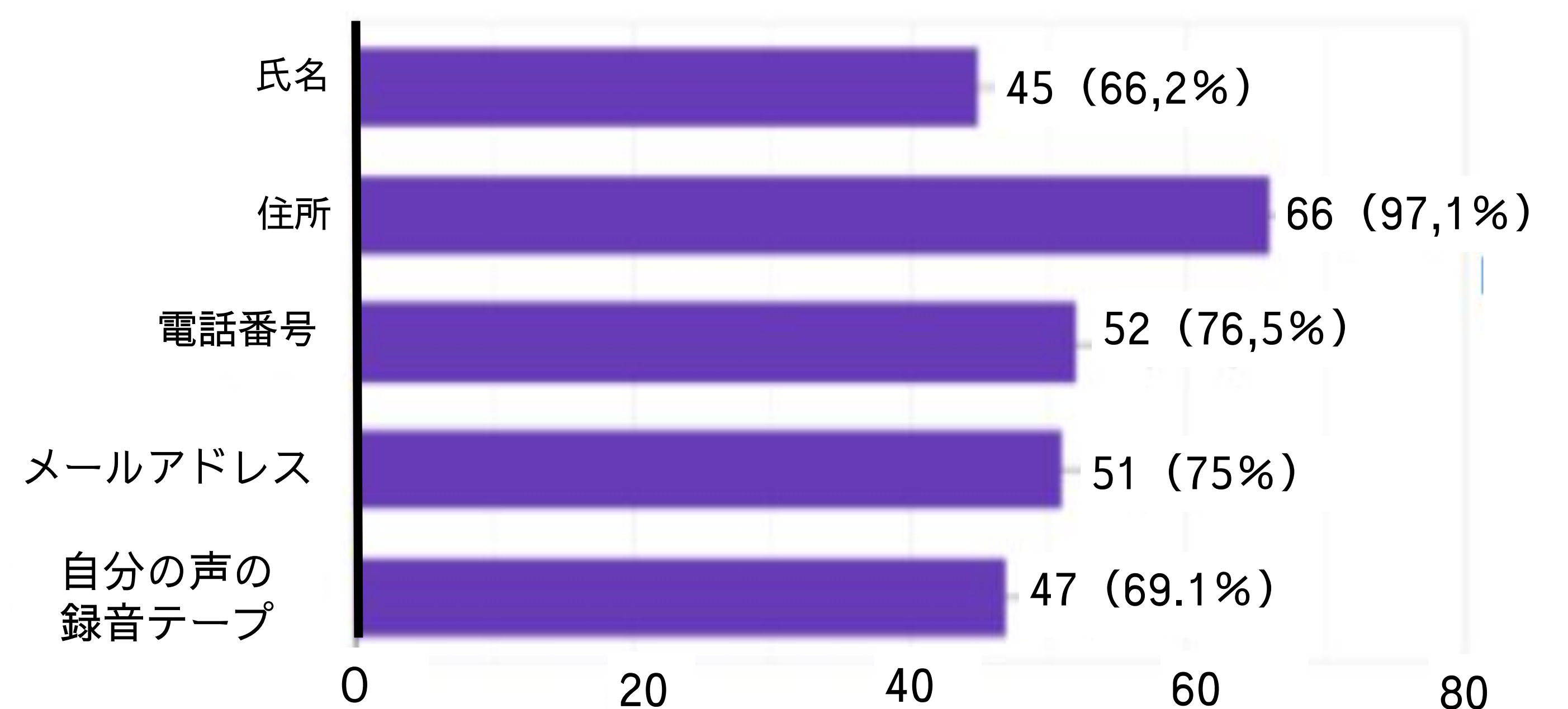
Q ネット上で誹謗中傷を見たことがありますか
66件の回答



検証方法2 (アンケート)

開示請求された場合、次のうち自分が開示されたくないものについてを本校の2年生にアンケートを取った。

Q あなたが開示されたくないと思うものはどれですか
68件の回答 (複数回答可)



考察

これにより、多くの人が開示請求について知らないことがわかり、開示請求の制度をもっと広める必要があることがわかった。

結論

開示請求という制度を周知し、誹謗中傷に対する若者の危機感を高めること、またどのような表現をしたら誹謗中傷に値するのかわかり、どんな口調で言葉を発すると誹謗中傷をしているように感じられるのかわかり、広く発信していく必要がある。

参考文献

<https://www.police.pref.hokkaido.lg.jp/info/seian/cyber-bouhan-hiroba/prevention/hibou-tyusyou/hibou-tyusyou.html>

【北海道警察ホームページ】 (10月4日閲覧)

https://www.vbest.jp/personal/eraserequest/disclosure_request/ 【ベリーベスト法律事務所】 (10月11日閲覧)